

# 豊科南小学校だより



平成27年12月25日発行

No.8

<学校教育目標> 自分を生きる子  
豊かに生きる子  
ともに生きる子

安曇野市立 豊科南小学校

〒399-8205 安曇野市豊科2723

電話：0263-72-2154

## 2学期が終了しました。

本日で、夏・秋・冬と3つの季節をまたいできた2学期が終了しました。登校日数は、85日（5・6年生は、キャンプ・修学旅行の振替日で1日少なく84日）、これまで大過なく行事や通常学習を行うことができたの、ひとえにご家庭の皆さんのご協力があったからこそと感謝しております。

先日は、お忙しいなか保護者懇談会にお越しいただきありがとうございます。保護者の皆さんと膝を交えてお話しできたことは、大変有意義でした。今年度も残り3か月余りとなりました。子どもさんの健やかな成長のため、職員一同精一杯取り組んで行きたいと思っております。引き続き、よろしくお願いいたします。



## ふれあい旬間（後半）の取り組みから

### ふれあい講演会

今年度は、法政大学キャリアデザイン学部准教授の「遠藤野ゆり（えんどう・のゆり）」先生をお招きし、「ちがうはたのしい」と題してお話を伺いました。お話は、低学年と高学年の部に分かれ、それぞれに楽しみながらお話が聞けるように、映像や音声を通して、クイズを取り混ぜながらお話をしてくださりました。

遠藤先生が伝えたかったことは、人によってものとのとらえ方が違って多様性があること、外見や性格の違いはもちろん、人には感じ方やとらえ方に違いがあること、全く同じ人はいないから楽しいこと、人それぞれの違いを認め合うことが大切であることを教えていただきました。お名前の「野ゆり」に込められた両親の愛情についても、お伺いすることができました。

普段は大学生を相手にご講義をされておられる遠藤先生、小学生を相手にお話されることはほとんどなく、やや戸惑いもあったようですが、遠藤先生の誠実さや明るさが伝わって心温まる講演会になりました。



### 校長講話

11月25日には、学校長からも「ふれあい旬間」に寄せて、お話をいたしました。

自身が子どものとき、自分の弟の目にけがをさせてしまったにがい思い出があり、そのことが原因かは定かではないが、弟がいつ頃から視力を落としてしまったこと、自分自身もショックで真っすぐ弟の顔を見ることができなかった日のこと、それから、相手の気持ちになって考えなければならないことや相手の気持ちになって声をかけることの大切さを知り、その日を境に自分が弟にできることは何かを考えるようになったこと。

後半では、全校児童の皆さんにしっかりと考えてほしいこととして、次のことを話しました。

1学期にあるお母さんが校長室に訪ねてきてくれました。そのお母さんは、南小の子どものことを心配されてお話に来てくれました。「この前、あすなる学級の子どもさんに対して悪口を言っているのを聞きました。その言葉を聞いたときとても心がいたくなりました。校長先生、もし全校のみんなにお話をするときがありましたら、上手にお話をさせていただきたいと思っております。」といった内容でした。そのお言葉を受けて、次のようにお話しました。（裏面へ）

1年1組でお勉強をしているお友だちもいます。6年4組でお勉強をしているお友だちもいます。あすなろ学級でお勉強をしているお友だちもいます。県立子ども病院の院内学級で病気と闘いながらお勉強をしているお友だちもいます。みんなこの南小学校の大切なお友だちです。何ができるとか、できないとかで、人間の価値が決まるものではありませんし、人としての重さが決まるものではありません。ちょっと自分とはちがうところがあるとかで人を馬鹿にしたり、からかったりしたりすること、それはいいことでしょうか？ ちょっと自分とはちがう人に対して、馬鹿にするような言葉をいったり、からかったりすることを、私はそのことの方が恥ずかしいことであると思うのです。



赤ちゃんは皆さんのようにお話ができなかったり、歩くことができなかったり、でも、いけない人ですか？ おばあちゃん。忘れることが多くなったり、腰が曲がったりして上手くお仕事ができません。でも、いけない人ですか？ 私が尊敬する車いすテニスの世界チャンピオン、国枝慎吾さんです。足に障がいを持っていて歩くことはできませんが、障がいを克服してテニスの世界チャンピオンとして活躍しています。

小学校のとき、私は弟のけがや言葉をきっかけに、他の人のために自分ができることを考えなければならぬことを学びました。私は皆さんに、自分がどうしたらよくなっていくか、他の人の為に何ができるかを考えながら生きていく人になってもらいたいと思っています。

## 生徒指導に関わって 冬休みを前に

明日から冬休みに入ります。年末年始は、家族とのふれあいを大切にいただき、けがや事故、迷惑行為のない良いお休みにしていただきたいと思います。特に、学校からお願いしたいこととして

- ① 保護者の許した用事もないのに、お店への出入りはしない。お店とのトラブルの事例もあります。お年玉は、むだづかいをしないようにし、つかいみちは、家の人と相談する。
  - ② インターネットやSNSについても、保護者の監督下で行い、トラブルを起こしたり、トラブルに巻き込まれたりしないようにする。コンビニやお店の敷地内等で、ゲームをしない。Wi-Fi電波を子どもだけで利用してインターネットを利用している例もあります。有料ゲームのある場所に、子どもだけで出かけるな。
  - ③ 大人の許可なくむやみに他人宅（特に留守宅）や敷地に立ち入らない。火遊びは絶対にしない。その他、危険なあそびもしない。
  - ④ 雪道や凍った道路では、自転車には絶対に乗らない。線路や駅の構内に入って遊ばない。線路への置き石、いたずらは絶対にしない。交通安全に気をつけ、自転車に乗るときは必ずヘルメットをかぶる。
- ※ 遊びに出かけるときは、家の人に行き先を告げ、行き帰りに気をつける。日が短いので、暗くなる前（4時半頃）には家に帰る。等にもご配慮ください。
- このほかにも、生活指導面で気をつけていただくことがあろうかと思っています。ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

## 学校経営などに関するアンケート（学校評価）

へのご協力ありがとうございました。

11月は、学校経営などに関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。いただきましたアンケートの結果については、3学期にお知らせします。

**皆さん、どうぞよいお年をお迎えください。**